

問題 この説明文はなぜ分かりやすい(分かりにくい)のか？

この単元と関連した領域の付いている力（◆）

C 読むこと〔小学校3・4年〕

◆ウ(説明的文章)

目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。

C 読むこと〔小学校5・6学年〕

◆ウ(説明的文章)

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

本単元の目標

学びに向かう力、人間性等

相手と目的に合わせてより良く説明するための工夫を粘り強く考え、伝えようとしている。

単元終了時のめざす生徒の姿

説明的な文章の構造を捉え、中心的な部分と付加的な部分などを読み分けている姿。
指示する語句と接続する語が文章の中でどのような役割を果たすかを理解している姿。

思考力・判断力・表現力等

C(1)エ
文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。

知識及び技能

(1)エ
単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。

この単元からつながっている領域の力（◆）

読むこと

(第2学年)

◆エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。

(第3学年)

◆ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。

生徒の実態と指導観

【生徒の実態と学びの系統性】

生徒の実態…R5 年標準学力調査(自校採点)において、C(1)エに関する問題 R5 全国学力・学習状況調査において、C(1)エに関する問題である「文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるか」の正答率が40.0%であった。この指導事項において、過半数を越えなかった。

学習に対する意欲はあるが、相手や目的に合わせて伝えようとする意識に課題が見られる。本単元前に、「好きなこと・ものを紹介する文章」について書く活動を行った。好きなことに

ついて、どのような言葉を選んで説明すれば伝わるかを深く考えたり、紹介したい物事について相手がどれほどの情報をもっているかをイメージして書いたりする生徒は少なかった。そこで本単元では「B書くこと」と関連した言語活動を設定し、新聞の投書をゴールとすることで目的と相手意識を持たせるように工夫している。

言語活動

筆者の説明の工夫を自分の文章に生かす ～「声ひろば」で好きなことを紹介しよう～

言語活動	学習過程	学習活動	評価規準（指導事項） 評価方法等	
【筆者の説明の工夫を自分の文章に生かす ～「声ひろば」で好きなことを紹介しよう】 （2）ア 説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする活動。	生徒が働かせる 見方・考え方	ア 構造と内容の把握	【第1時】 ①これまでに自分が書いた説明的な文章を振り返り、分かりやすいと思うか考え、ペアで伝え合う。 ②「ダイコンは大きな根？」を読み、形式段落に番号を振る。 ③文章の構成を大まかに確認する。	
	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。 説明的な文章において、指示する語句と接続する語句がどのような役割を果たすかを理解すること。	イ～エ 精査・解釈	【第2時】本時 ③本文は分かりやすい説明文であったか考えを持たせ、理由をペアで共有する。 ④学級全体での共有から、筆者の説明の工夫点について予想を立てる。 ⑤筆者の文章は分かりやすいと思うかに着目し、キーワードに線を引きながら本文を再読する。 ⑥筆者の説明の工夫点について、本文の叙述(キーワード)を基に考え、ノートに考えを書く。 ⑦考えを説明し合う。	〔思考・判断・表現〕 Cエ ノート 筆者の説明の工夫点を本文の叙述を根拠として用いて説明している
		ウ 考えの形成、共有	【第3時】 ⑧筆者の書き方の工夫を生かし、前単元で書いた「好きなこと」の文章を見直す。 ⑨前時の学習を生かして、具体的にどの部分を直せばよいかペアで説明し合う。	

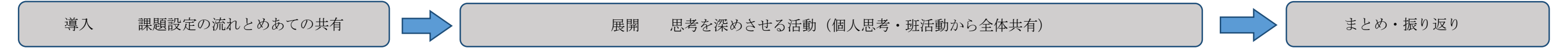
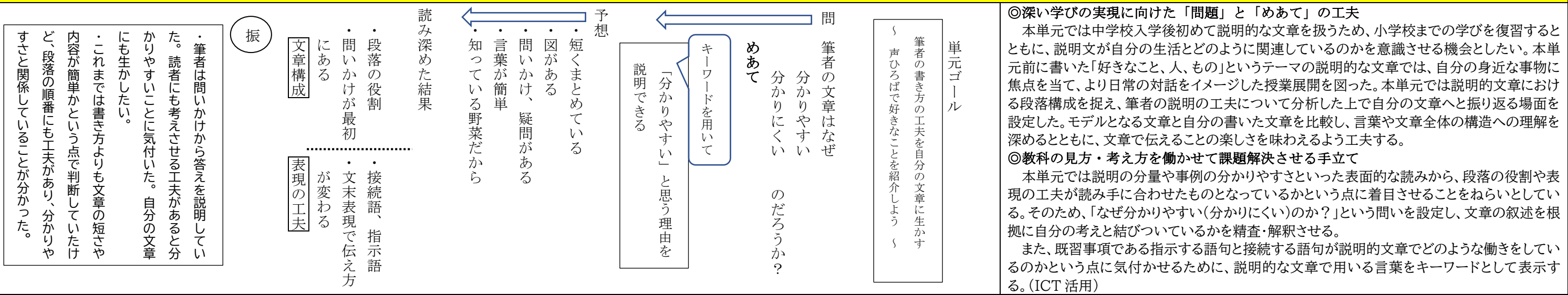
単元末に目指す生徒の言語活動例

「稲垣さんの書いた説明文と自分の書いた文章を比較すると、自分の書いた文章には段落と段落のつながりが無いことに気付いた。問いと答えの段落をいくつか入れると興味を引く文章になると思う。」

「稲垣さんの書き方の良さは、身近な例を挙げていたところだと思う。いつも食べているダイコンを観察したくなるような説明になっていた。私の文章は具体例や説明が足りないのだから人には分かりにくい文章になっていたと思う。」

「稲垣さんは題名を工夫していた。内容ばかり考えていたけど、題名にも読む人をひきつける効果があると思う。また、段落の順番も入れ替えて、伝わり方の違いを確認することが大切である。」

【本時の目標】（本時 2/3時間）キーワードを用いて「分かりやすい」の理由を説明できる
【本時における言葉による見方・考え方】 筆者の文章の構成や表現の仕方に着目し、キーワードを根拠に説明できる



<p>単元ゴール 筆者の書き方の工夫を自分の文章に生かす ～「声ひろば」で好きなことを紹介しよう～</p> <p>T: 前時では本文を読んで大まかな構成を確認しました。どんな構成で作られた文章でしたか。 S: 問いが2つとそれに対する答えがある S: 10の段落で構成されている S: はじめ、なか、おわりの構成 T: 日頃食べている大根について、問いと答えを挙げて説明している文章構成でした。では、この文章は分かりやすい文章だと感じましたか？ S: 分かりやすい(分かりにくい) T: そう感じた理由をペアで共有して下さい。 ペアでの共有(2分) 全体共有 予想される生徒の反応 【なんとなく、短いから、問いと答えがあるから、身近な話題だからなど】(別紙) T: 今日の問いについて、どんなめあてで進める？ S: 分かりやすいのはなぜか探す S: 理由を説明する</p>	<p>めあての確認(5分) めあて: 分かりやすいと思う理由を説明できる</p> <p>T: めあてを達成するためには何をしますか？ S: 本文を読む、分かりやすいと思う部分を見つける T: 分かりやすさの理由につながると思う部分に線を引きながら読みましょう。単語の部分だけでもかまいません。</p> <p>(めあての補足) <u>キーワードを用いて、</u>分かりやすいと思う理由を説明できる</p> <p>T: では本文を再読してみよう。個人で黙読してください。(10分) T: キーワードとなる言葉を教えてください。 S: つまり… S: いっぽう… S: ～でしょうか S: 題名の「？」 S: このように S: なぜ違っているの S: 新しい魅力</p> <p>ポイント ・接続語、指示語に着目している生徒の意図的指名 ・キーワードを共有</p> <p>T: キーワードを根拠にして、分かりやすいと思う理由をノートに書きましょう。</p> <p>個人活動(8分)</p>	<p>ペアでの共有(4分) 全体共有、確認(10分) S: 4段落に「いっぽう」という言葉が使われていて、根と胚軸を比べることで読み手にも違いが分かるように工夫していた。だから分かりやすいと感じる文章だった。 S: 2段落で「～でしょうか」と質問する文を入れ、そのあとに答えとなる段落が続いている。答えだけ書くのではなく、疑問を解決する書き方だったから、読み手にも考えさせることができる。だから分かりやすいと思う。 S: まとめの段落で「新しい魅力が見えてくるかもしれません」と書いていて、読んでいる人が他の野菜を調べたくくなるような言葉を使っていた。 S: 「例えば、キャベツやレタスなら…」と書いていて、具体例を挙げていることが分かった。読者がイメージしやすいような例があったので、それが分かりやすいと感じる理由だと思う。</p> <p>T: みんなの意見に共通していることはないでしょうか？ S: 段落に注目している T: 段落がどのような役割をしているのだろうか？ S: 読み手に考えさせる段落や、まとめる段落があるので、読むときに考えやすい S: 文末や文の最初の言葉がキーワードになっている S: 指示する語句や接続語があった</p> <p>T: みんなの見つけた理由や共通点から、段落や文末表現、指示する語句や接続語には、自分の考えや物事の説明を分かりやすく伝える効果があると言えます。</p>	<p>振り返り(書く5分、ペア共有2分) T: 今日めあてに対して、自分の気づきや友達の見え方から考えたことを整理して、振り返りを書きましょう。 S: 筆者は問いかけから答えを説明していた。読者にも考えさせる工夫があると分かりやすいことに気付いた。自分の文章にも生かしたい。 S: これまでは書き方よりも文章の短さや内容が簡単かという点で判断していたけど、段落の順番も分かりやすさと関係していることが分かった。 T: 自分の書いた「好きなこと・もの」についての文章を思い出してください。今日の筆者の使っていた工夫がみなさんの文章では使われていましたか？分かりやすい文章になっていましたか？次回は今日の学習での発見を生かして、自分の文章を見直しましょう。</p>
--	---	---	---

〈指導上の留意点〉
 ・問題や前時までの復習との関連から、本時のめあてを設定する。
 ・キーワードとなる用語を視覚的に示して全体共有し、Cの生徒の手立てとなるように留意する。(ICT活用)
 ・友だちの考えを聞いて変容した最終的な「自分の考え」をノートに記述させる。

評価規準: 思考力・判断力・表現力等
C(1)E
 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。

